

Globally connected. Rooted in Japan.  
Your most trusted partner.

# SMBCグループ 個人投資家向け説明会

2026年9月14日

|       |        |
|-------|--------|
| 証券コード | 8316   |
| 単元株数  | 100株   |
| 株価*   | 6,911円 |

\* 2026年9月11日現在

# アジェンダ

|     |                |    |
|-----|----------------|----|
| I   | これまでのSMBCグループ° | 2  |
| II  | これからのSMBCグループ° | 6  |
| III | SMBCグループから皆さまへ | 19 |
|     | ご参考資料          | 24 |



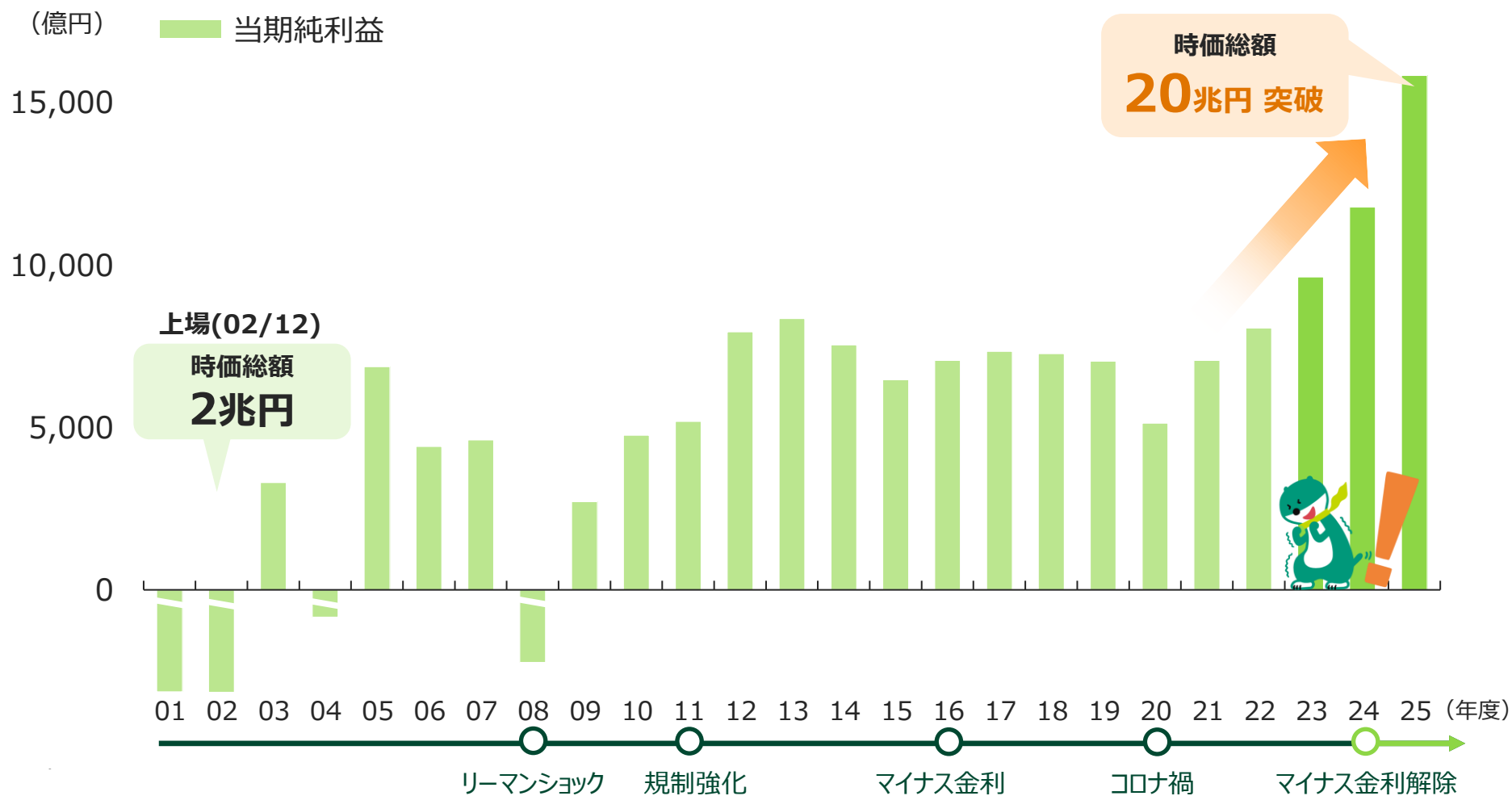
Globally connected. Rooted in Japan.  
Your most trusted partner.

# これまでのSMBCグループ°



# SMBCグループ 25年の歩み

不良債権や公的資金等の課題を抱えた厳しい事業環境でグループがスタートしてから25年、  
構造改革や成長戦略の成果と金利ある世界の到来により、当期純利益・時価総額は過去最高水準に到達



# 2025年度の実績

## 2025年度業績

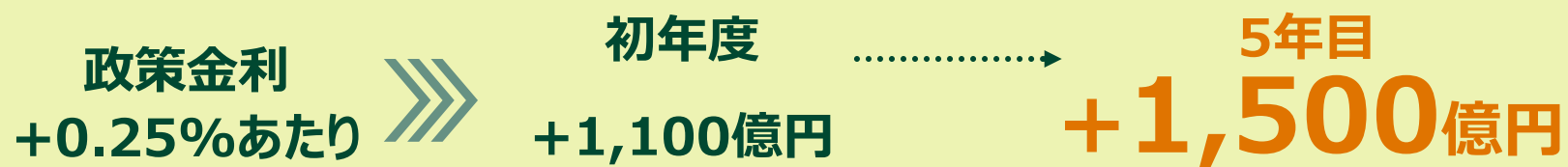
|                          |        |              |        |
|--------------------------|--------|--------------|--------|
| 連結粗利益<br>(一般企業の売上に相当)    | 4.8 兆円 | 総資産          | 329 兆円 |
| 連結業務純益<br>(一般企業の営業利益に相当) | 2.3 兆円 | 貸出金残高        | 118 兆円 |
| 当期純利益                    | 1.6 兆円 | 預金残高         | 201 兆円 |
| 東証基準ROE                  | 10.4 % | 3年連続で過去最高を更新 |        |

## 業容

|     |                |          |        |
|-----|----------------|----------|--------|
| 拠点  | グループ全体<br>(海外) | 38 カ国・地域 | 143 拠点 |
| 従業員 | グループ全体         | 12 万人    |        |
|     | うち三井住友銀行       | 2.8 万人   |        |

# (参考)円金利上昇による資金利益への影響\*

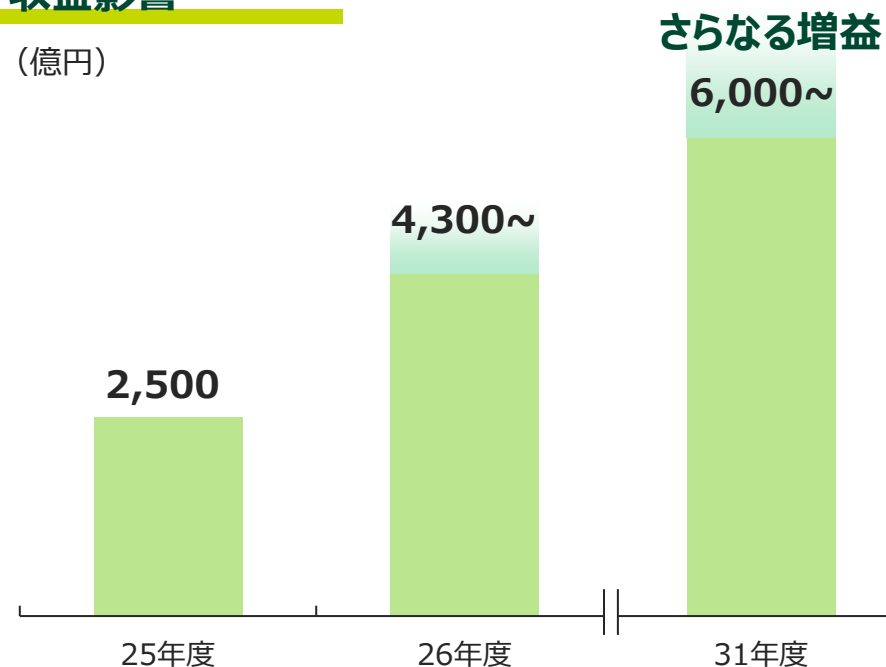
政策金利+0.25%ごとに、初年度+1,100億円、5年目には+1,500億円の増益効果  
貸出金の残高増加や利ざや拡大、国債運用等でさらなる増益も展望



## 円貨バランスシート（26/6末）

| 運用    |    | 調達（兆円） |     |
|-------|----|--------|-----|
| 貸出金   | 70 | 預金     | 135 |
| 市場性運用 | 60 |        |     |
| その他   | 20 | その他    | 15  |

## 収益影響



\* 長期・短期金利ともに+25bpsずつ上昇の想定。預金金利は過去実績を使用

Globally connected. Rooted in Japan.  
Your most trusted partner.

# これからのSMBCグループ°



# 中長期的（5年後～）に目指す姿

## 新ビジョン

### 世界をつなぐ日本発のトラステッド・パートナー

Globally connected. Rooted in Japan. Your most trusted partner.

## 世界一流プレイヤーとしての収益力

ROTE  
(収益性指標)

15%

+

当期純利益

2兆円台半ば

25年度  
11.4%



14~17%

SMBC Group

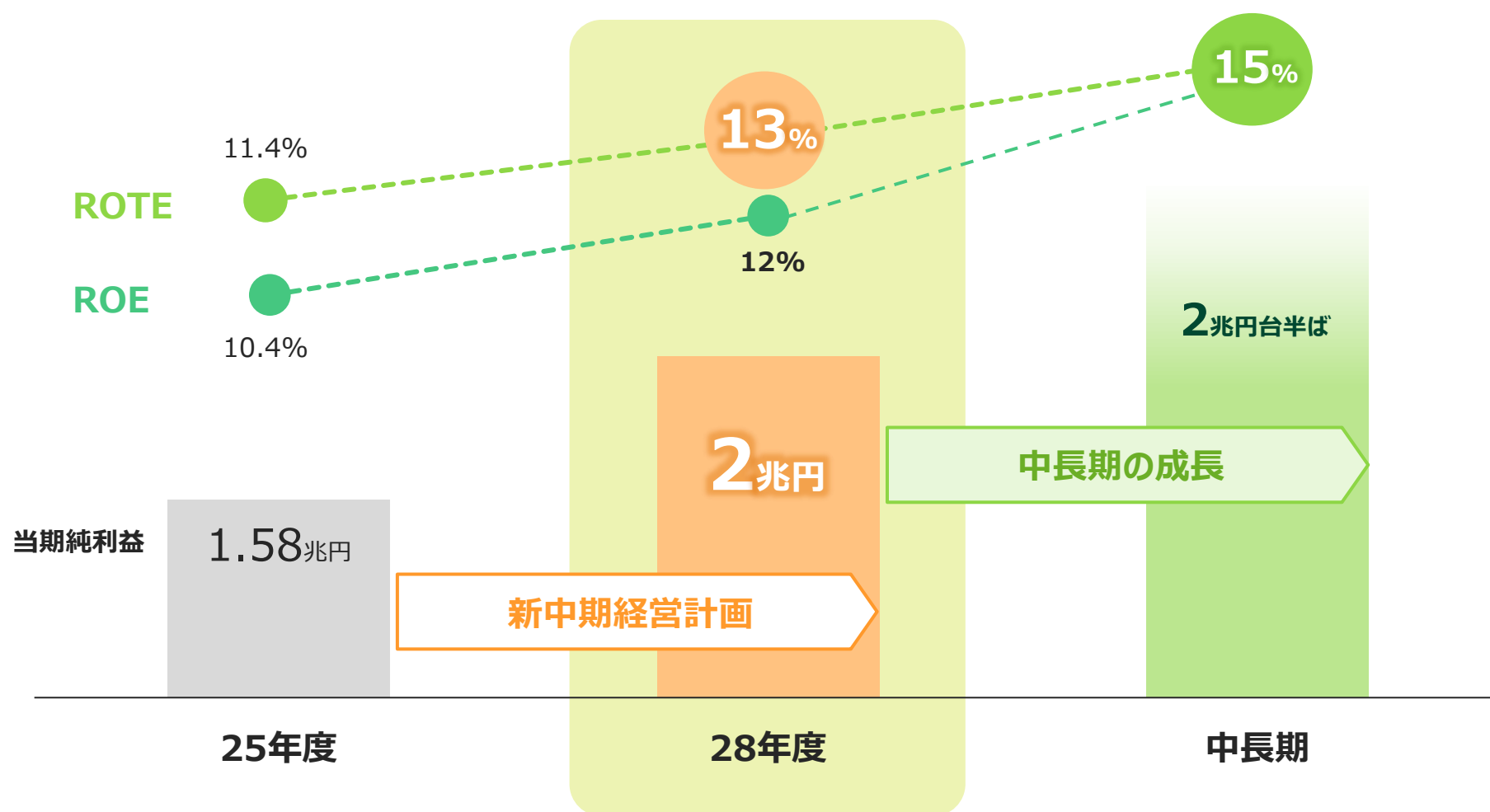
欧米トップ金融機関\*

\* 各社が中長期的に目指すROTEまたはROTCE目線

ROTE：分子＝当期純利益＋のれん償却額、分母＝自己資本－無形固定資産

# 新中期経営計画の概要\*

## 高みを目指して大胆な変革にチャレンジ



\* 計画前提：政策金利 日本1.25%、米国3.0%、1ドル=150円

# 新中期経営計画 5つの目標

I

国内ビジネスでトップ

II

海外ビジネスの構造改革

III

テクノロジーを経営の柱に

IV

現場力・戦略遂行力で差別化

V

社会的価値の取組高度化

事業戦略

経営基盤

# I.国内ビジネスでトップ：日本最大のデジタル基盤

圧倒的な利便性を武器にOliveを拡大し、預金残高・買物取扱高のさらなる成長を目指す

# Olive



アカウント開設数

26/6時点  
**800万件**

28年度

**1,500万件**

個人預金残高

(兆円)

**+3兆円**

62.7

65.7

26/3

29/3

買物取扱高\*

(兆円)

**+16兆円**

38

55

25年度

28年度

収益イメージ

業務純益

(25年度)

**200億円**



(28年度)

**1,100億円**

外部連携



New

\* 25年度の買物取扱高は28年度までに剥落する大口影響を除く

# I.国内ビジネスでトップ： 富裕層向けビジネスの拡大

対面・デジタル双方のアプローチを効果的に行い、預かり資産を大幅に増加

## SMBC Wealth

営業体制強化

グループ一体での推進体制

拠点ネットワーク

商品開発

### 対面アプローチ

AM<sup>\*</sup>・外貨預金残高

26/3 23兆円 ➡ 29/3 **28兆円**



法人オーナー



超富裕層



資産家



### デジタル活用

Oliveコンサルティング

運用資産残高 預金残高

5カ年目標 **10兆円** **10兆円**

好みに合わせた  
相談方法



AIチャット



オンライン



対面

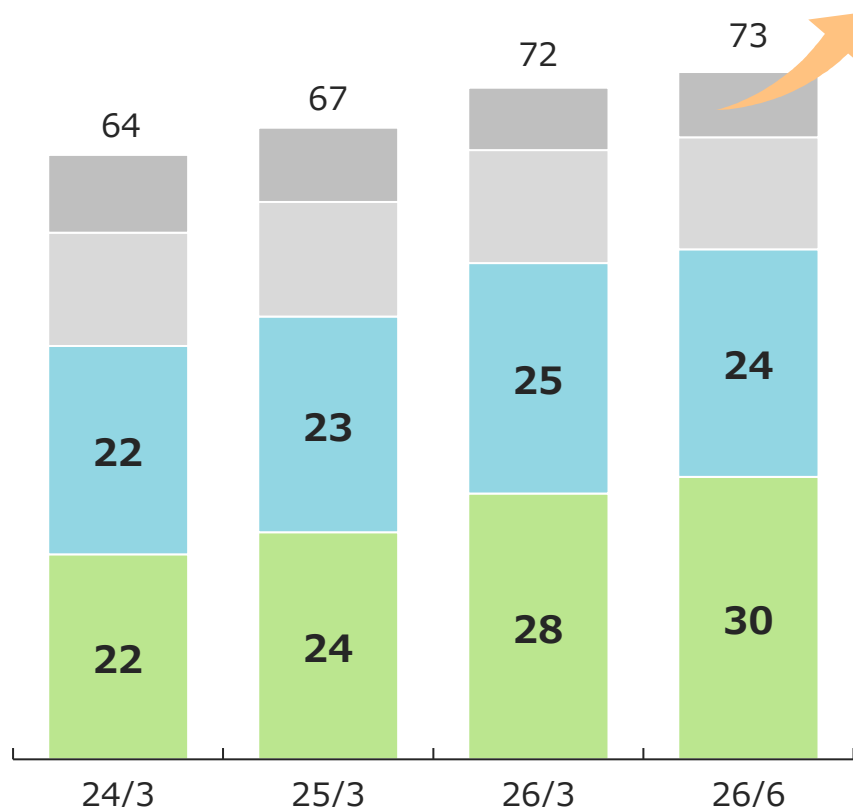
# I.国内ビジネスでトップ：すべての法人取引でトップの競争力を確立

国内の旺盛な資金需要に対応するべく、すべての規模のお客さまに対して営業体制を強化し、さらなる収益力向上を追求

## 国内貸出金残高

(兆円)

■ 大企業 ■ 中堅・中小企業 ■ 個人 ■ その他



## グループ・グローバル連携による体制強化

### 大企業・中堅企業

投資銀行機能の高度化・強化

#### Jefferies\*連携

大型案件の  
組成力

海外の  
投資家網

先進的な  
取引基盤

#### グループ連携

### 中小企業・スタートアップ

Good For Your Company's Days.

 **Trunk**

26/7時点

9万口座

28年度

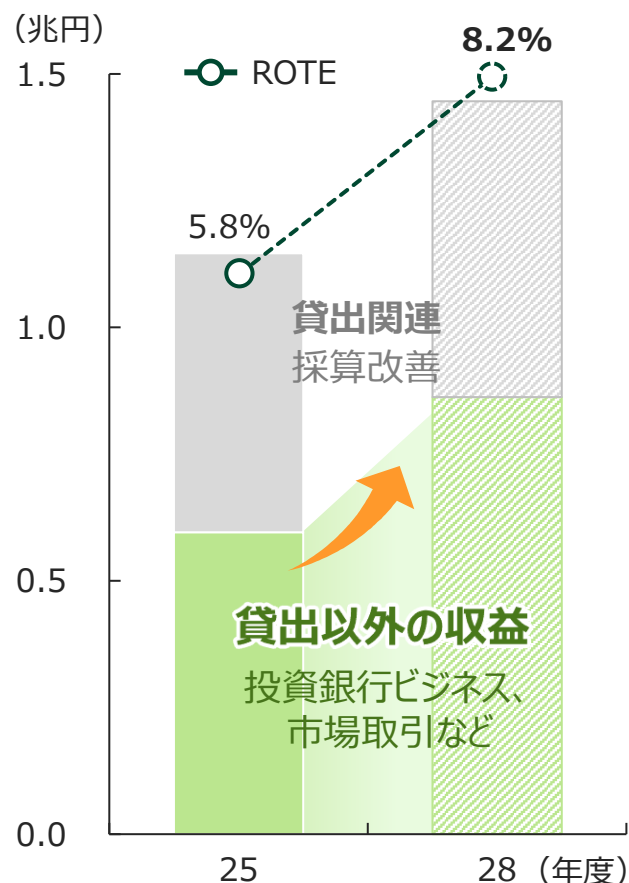
30万口座

預金  
残高 3兆円

## Ⅱ.海外ビジネスの構造改革：投資銀行・市場取引ビジネスの強化

貸出以外の投資銀行・市場取引ビジネス<sup>\*1</sup>強化を通じ、手数料収益を増やすことで海外での資本効率を改善  
 貸出は新規案件を厳選して取り組み、採算を改善

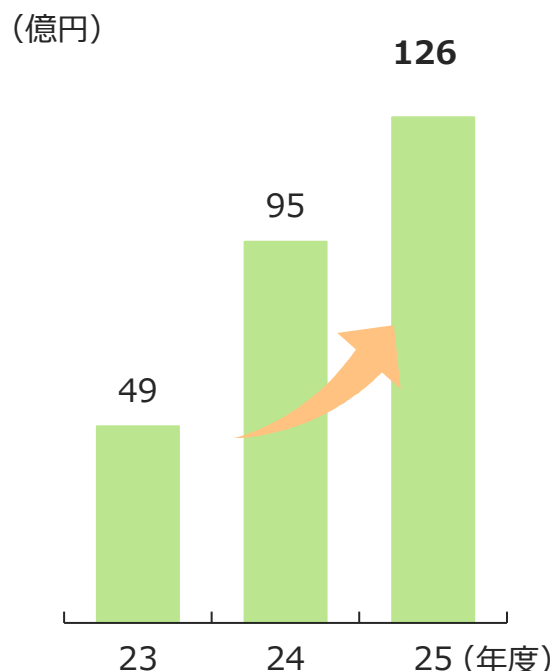
### 海外法人取引・市場取引 粗利益



### 投資銀行ビジネス

Jefferies連携による機能強化

#### 協働収益<sup>\*2</sup>

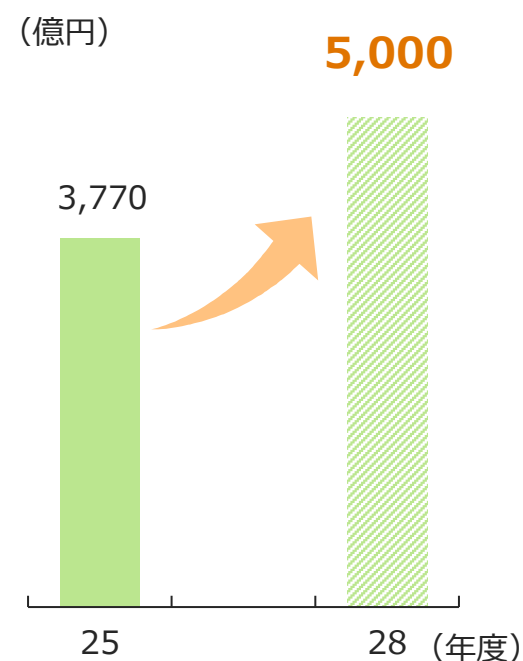


### 市場取引強化

海外顧客基盤  
拡大

取引基盤  
高度化

#### 市場取引収益



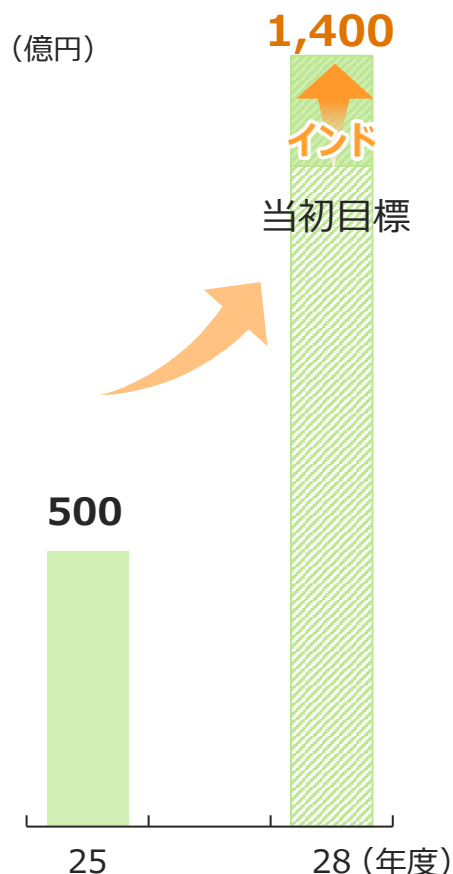
\*1 セールス&トレーディング

\*2 SMBC帰属分

## Ⅱ.海外ビジネスの構造改革：アジアのダイナミックな成長

最注力国のインドでは、現地支店と出資先の連携により外銀No.1の地位を目指す  
他の3か国でも、さらなる収益強化策に着手し、利益貢献目標達成に注力

### 利益貢献



### インド

3社連携により外銀No.1を目指す

#### 顧客層を網羅



#### ホールセール

日系企業・大企業

現地大企業～  
中堅・中小企業

中小企業～個人事業主

#### リテール

—

富裕層～マス層

マス層

### インドネシア・ベトナム・フィリピン

さらなる収益強化策に着手



# I & II. 国内・海外横断の取組：少ない資産で安定収益を創出

運用・資産形成ビジネスにおいて、SMBCグループならではの付加価値を提供し、運用資産を拡大  
グローバル決済ビジネスでは、商品・システムの機能改善と顧客対応強化により国内外での預金を獲得

## ▶ 運用・資産形成ビジネスの拡大

アクティブ運用での存在感発揮



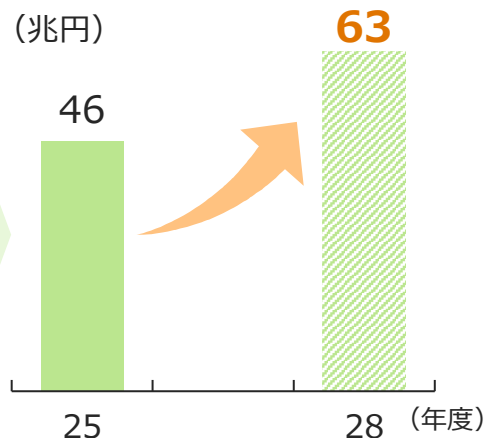
3年連続  
最多受賞

プライベートアセットビジネスの確立

SMBC PRIVATE MARKETS

投資助言ビジネスの本格展開

グループ  
運用資産残高



## ▶ グローバル決済ビジネスの強化

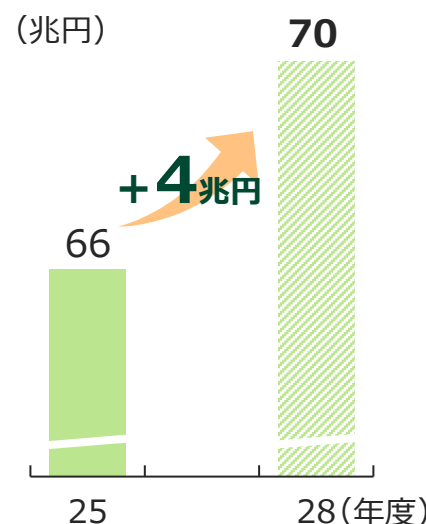
SMBC Connect+

資金管理システム  
刷新

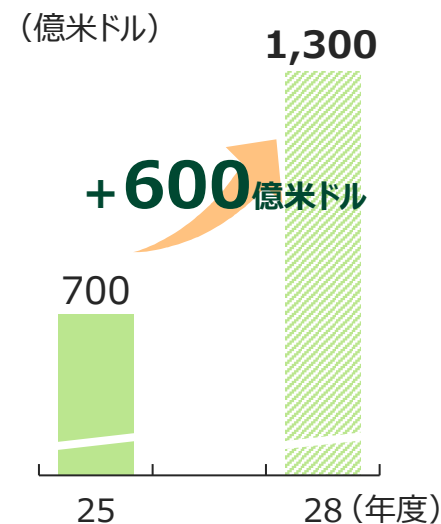
人員増強  
+200人

AI活用による  
効率・品質改善

法人円預金\*1



法人外貨流動性預金\*2



\*1 25年度の数字は年間平残

\*2 25年度の数字は特殊要因等を除く年間平残

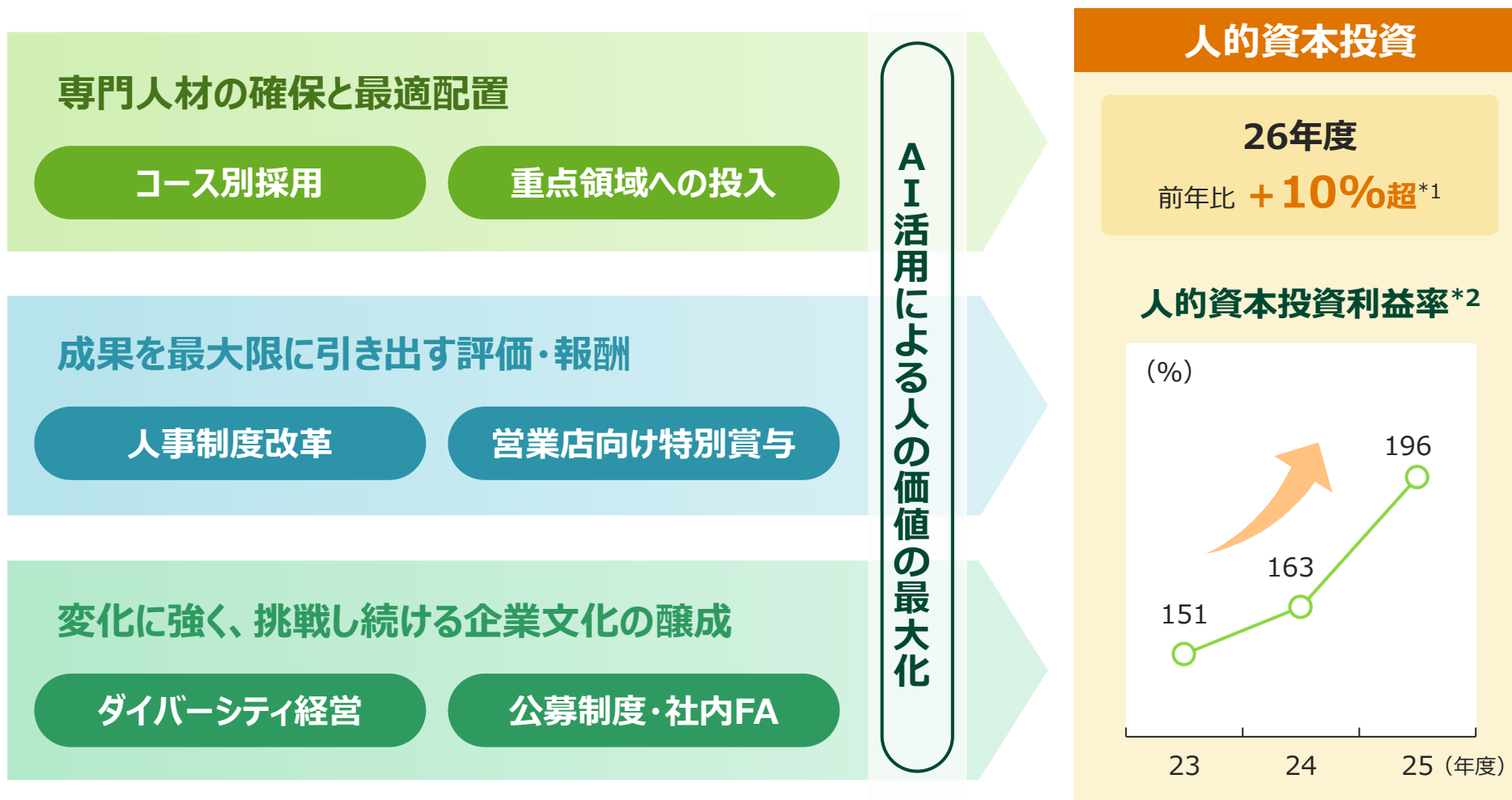
### Ⅲ. テクノロジーを経営の柱に：ITトランスフォーメーション

3年間で1兆円のIT投資を通じて基盤・開発体制を抜本的に増強  
社内業務からお客さま向けのサービスに至るまでAI活用を加速



## IV.現場力・戦略遂行力で差別化：成長を支える人的資本の強化

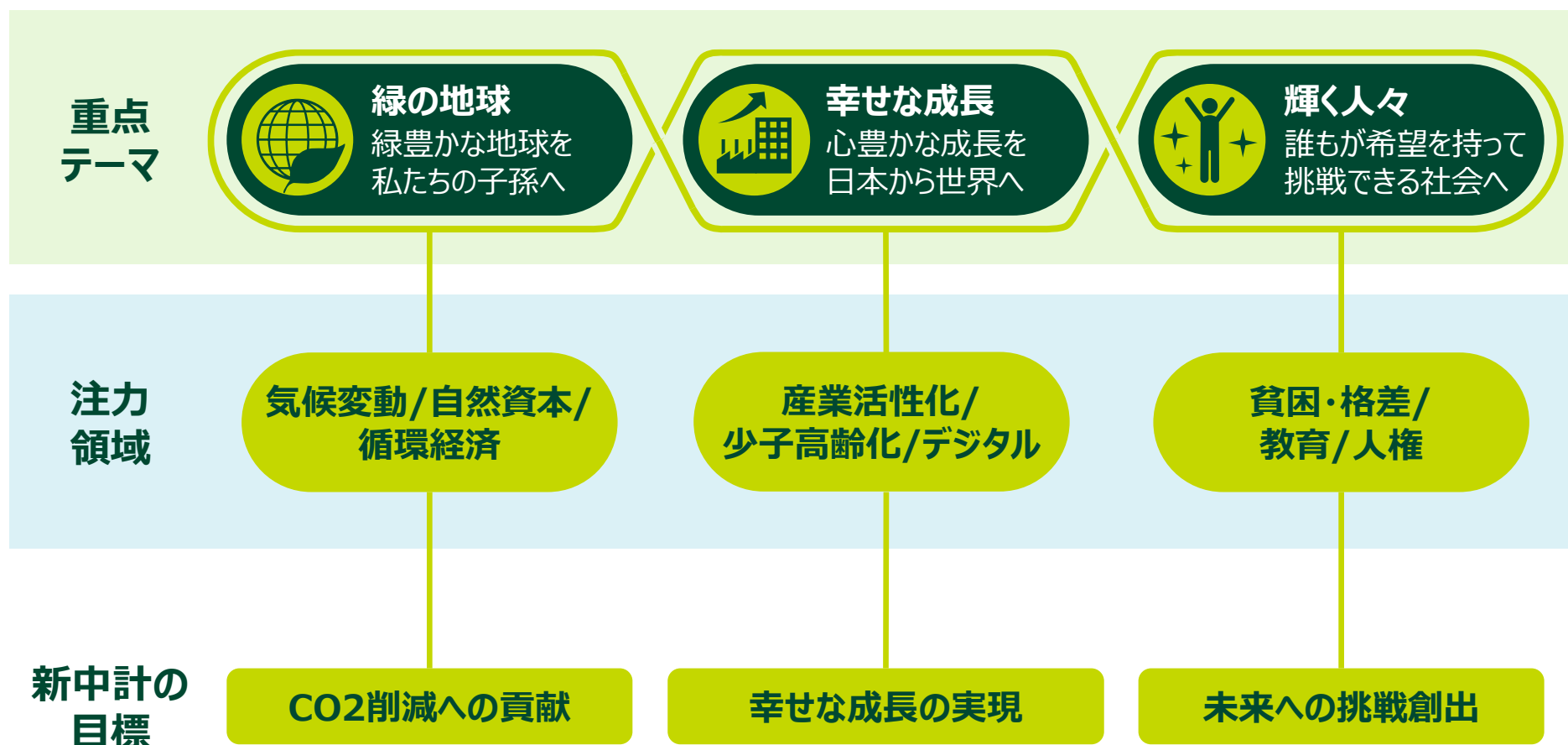
人的資本への積極的な投資と投資効果の計測を通じて、現場力を最大限に引き出す基盤を構築



\*1 SMBC \*2 人件費あたりの付加価値の割合：（業務粗利益-（営業経費-人件費））÷人件費-1

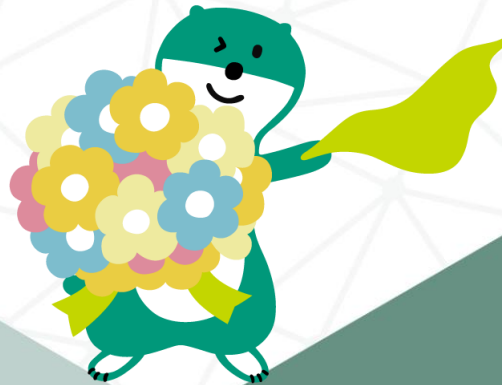
## V.社会的価値の取組高度化

「トラステッド・パートナー」として、本業を通じて社会的価値を創造



Globally connected. Rooted in Japan.  
Your most trusted partner.

# SMBCグループから皆さまへ



# 資本政策の基本方針

健全性確保、株主還元、成長投資にバランスよく資本を配賦

今中計では、国内成長とIT投資にも注力しつつ、株主還元のさらなる強化を図る

## 健全性

CET1比率の運営目標：10.5%程度（10.0%-11.0%）

### 株主還元

#### 配当

- 配当性向40%\*
- 每期増配

#### 自己株取得

- より機動的に

### 成長投資

#### 国内成長

- 国内の旺盛な資金需要に対応

#### IT投資

- 3年間で1兆円～

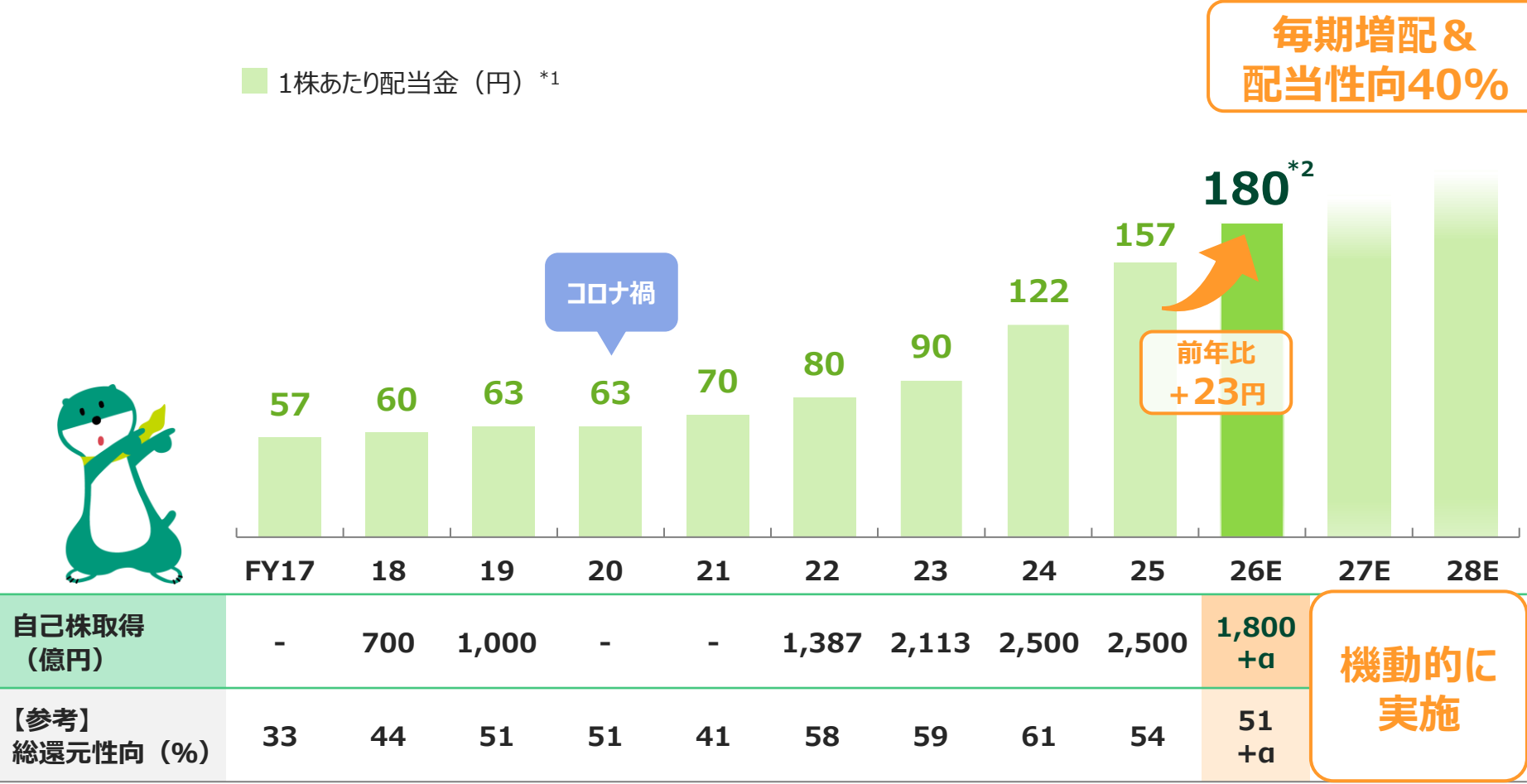
#### 出資案件

- 既存出資先の収益化に注力

\* 当期純利益の一時的な上振れ要因は、利益の性質に応じて資本配賦を検討

# 株主還元の強化

「累進的配当」を一步踏み込み、今年度からは毎期増配をお約束  
 自己株取得は、足元の不透明な環境も踏まえ、まずは上期に1,800億円実施



\*1 2024年10月1日付で実施した株式分割（3分割）を踏まえ、過去に遡り調整した金額（小数点以下は四捨五入）  
 \*2 株式分割（2分割）を実施予定。効力発生日：2026年10月1日、分割後の1株あたり配当：90円

Copyright © 2026 Sumitomo Mitsui Financial Group. All Rights Reserved.

# 投資しやすく、持ち続けたいなる銘柄へ

株式分割による投資単位の引下げとOliveユーザーである株主さまへの優待を通じて、SMBCグループの長期的な成長戦略を評価していただき、当社株式を長期で保有いただけるような関係を構築

## 株式分割

投資単位を引き下げ、  
投資しやすく

分割割合

1 対 2

## 株主優待

### Ⅰ Vポイントの付与

| 保有株式数*  | 保有期間 | 付与ポイント   |
|---------|------|----------|
| 100株～   | 1年～  | 5,000pt  |
| 1,000株～ | 5年～  | 30,000pt |

### Ⅱ 定期預金金利上乘せ

円定期預金 3カ月物  
+ 年1.0%

### Ⅲ 協賛イベント等ご招待

国内の  
個人投資家



Oliveユーザー

# なぜSMBCグループを選んでいただきたいのか

## 1. 力強い成長戦略

国内ビジネスでトップ、かつ  
グローバルで存在感を発揮するプレイヤーへ

## 2. 商人のDNA

あきんど

お客さま起点で考える強い現場力と  
新たな価値を提供する先進性

## 3. 厳格なリスクコントロール

健全な与信と環境変化を洞察する予兆把握で  
リスクを低減

## 4. 株主還元の強化

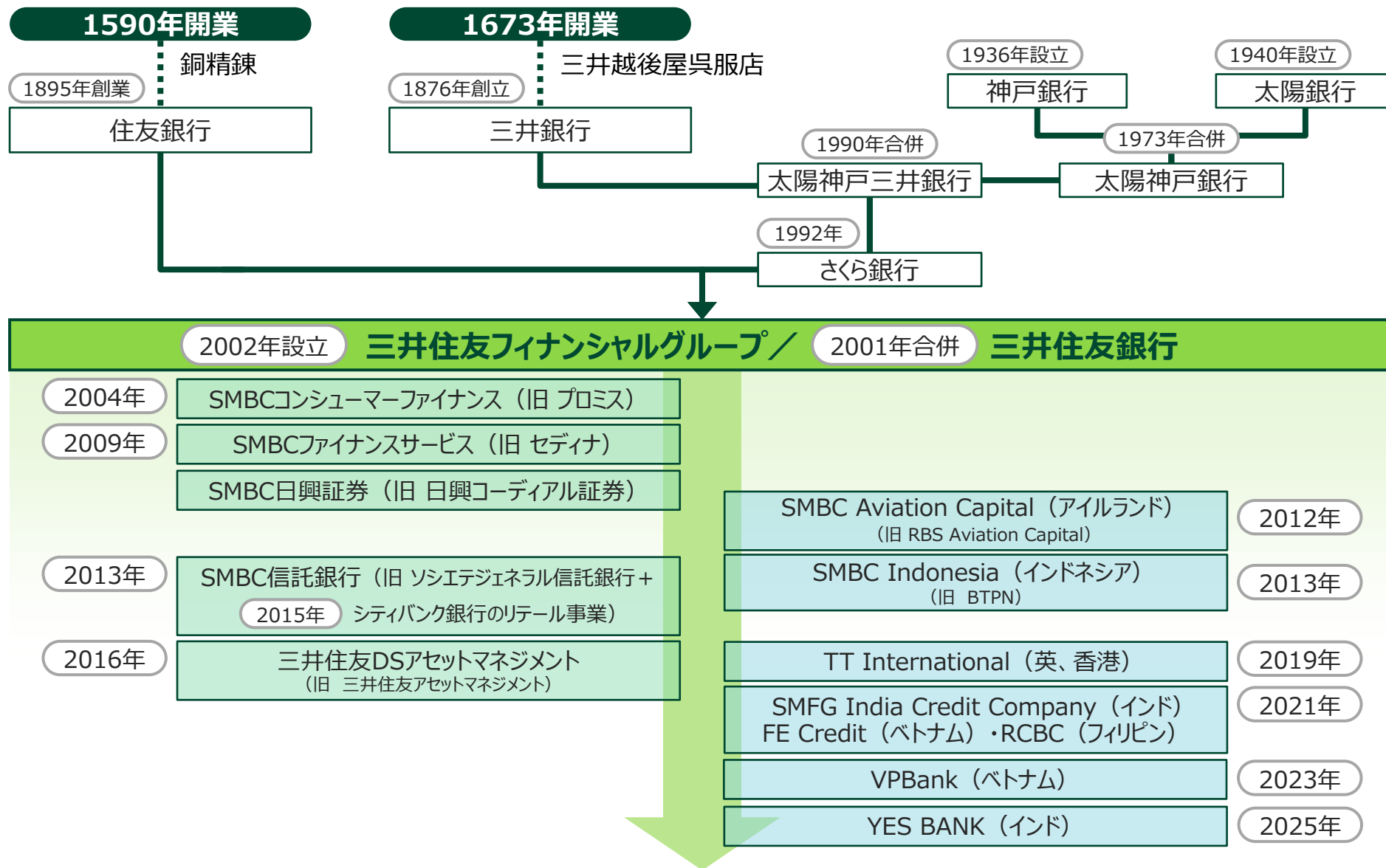
力強い配当成長と  
より機動的な自己株取得の実現

Globally connected. Rooted in Japan.  
Your most trusted partner.

ご参考資料



# SMBCグループの沿革



# 2026年度1Q決算

## ▶ 連結P/L

|             | (億円)       | 26年度<br>1Q | 前年<br>同期比 | 26年度<br>目標 |
|-------------|------------|------------|-----------|------------|
| 1 連結粗利益     |            | 14,034     | +3,157    |            |
| 営業経費        |            | ▲7,122     | ▲1,125    |            |
| 2 (経費率)     |            | 50.7%      | △4.4%     |            |
| 3 持分法投資損益   |            | 311        | ▲251      |            |
| 4 連結業務純益    | 進捗率<br>30% | 7,223      | +1,780    | 24,000     |
| 5 与信関係費用    |            | ▲748       | △9        | ▲3,400     |
| 6 株式等損益     |            | 755        | +344      |            |
| 7 その他       |            | ▲299       | ▲35       |            |
| 8 経常利益      |            | 6,931      | +2,098    | 23,900     |
| 9 特別損益      |            | ▲16        | +1        |            |
| 10 税コスト     |            | ▲1,855     | ▲832      |            |
| 11 親会社株主純利益 | 29%        | 5,014      | +1,245    | 17,000     |
| 12 ROTE     |            | 13.8%      | +2.5%     |            |
| 13 東証基準ROE  |            | 12.6%      | +2.3%     |            |
| 14 株主資本ROE  |            | 17.1%      | +3.5%     |            |

## ▶ 主要グループ会社

(左：26年度1Q実績、右：前年同期比)

| (億円)  | SMBC         | SMBC日興 <sup>*1</sup> | SMCC <sup>*2</sup> |
|-------|--------------|----------------------|--------------------|
| 業務粗利益 | 7,951 +2,167 | 1,779 +490           | 2,314 +178         |
| 経費    | ▲3,283 ▲564  | ▲1,286 ▲191          | ▲1,731 ▲170        |
| 業務純益  | 4,668 +1,603 | 493 +298             | 588 ▲17            |
| 当期純利益 | 3,766 +1,230 | 371 +175             | 145 ▲178           |

|       | SMBC信託  | SMDAM 50% | SMFL <sup>*3</sup> 50% |
|-------|---------|-----------|------------------------|
| 業務粗利益 | 212 +38 | 143 +40   | 953 ▲16                |
| 経費    | ▲114 ▲5 | ▲90 ▲11   | ▲439 ▲10               |
| 業務純益  | 97 +33  | 53 +29    | 523 ▲44                |
| 当期純利益 | 68 +7   | 19 +11    | 254 ▲159               |

\*1 SMBC日興アメリカおよびSMBC Capital Marketsの利益を含む内部管理ベース

\*2 SMBCCFの計数を含む \*3 内部管理ベース

# バランスシート

## ▶ 連結B/S (26/6末)

( ) 内は26/3末比

| 貸出金                 |        |
|---------------------|--------|
| 119.8兆円 (+2.1兆円)    |        |
| 国内貸出金 <sup>*1</sup> | 73.3兆円 |

| 有価証券               |        |
|--------------------|--------|
| 40.0兆円 (+0.0兆円)    |        |
| 国債 <sup>*2</sup>   | 4.4兆円  |
| 外国債券 <sup>*2</sup> | 18.0兆円 |

| その他                  |        |
|----------------------|--------|
| 167.7兆円 (▲3.1兆円)     |        |
| 現預金                  | 71.5兆円 |
| 日銀当座預金 <sup>*1</sup> | 51.0兆円 |

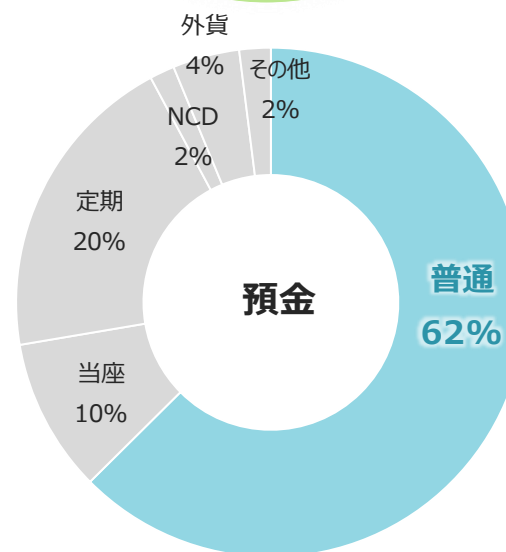
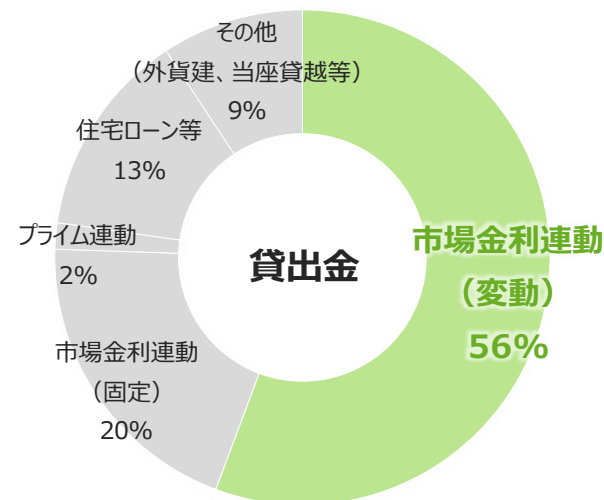
| 預金                 |         |
|--------------------|---------|
| 200.4兆円 (▲1.0兆円)   |         |
| 預貸率 59.8%          |         |
| 国内預金 <sup>*1</sup> | 136.8兆円 |
| 譲渡性預金 (NCD)        | 13.6兆円  |

| その他              |  |
|------------------|--|
| 110.9兆円 (▲0.3兆円) |  |

| 純資産             |  |
|-----------------|--|
| 16.2兆円 (+0.3兆円) |  |

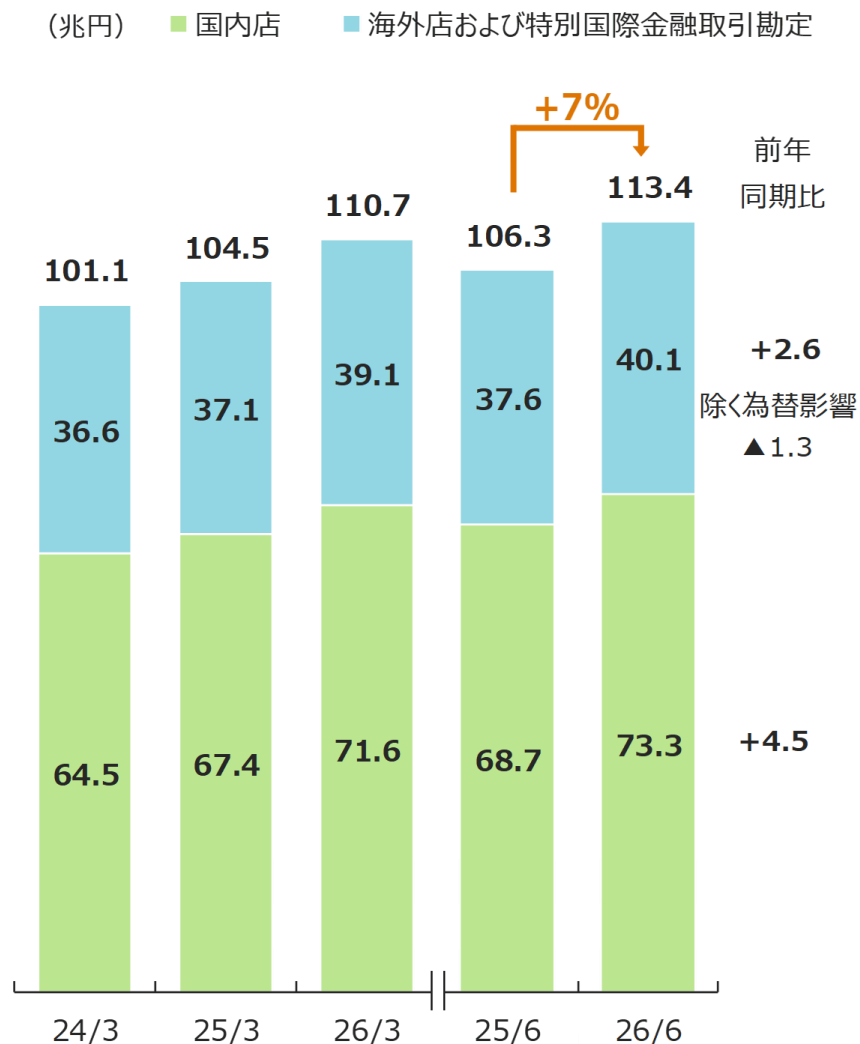
総資産 327.5兆円 (▲1.0兆円)

## ▶ 預貸金の構成比 (26/6末) <sup>\*3</sup>

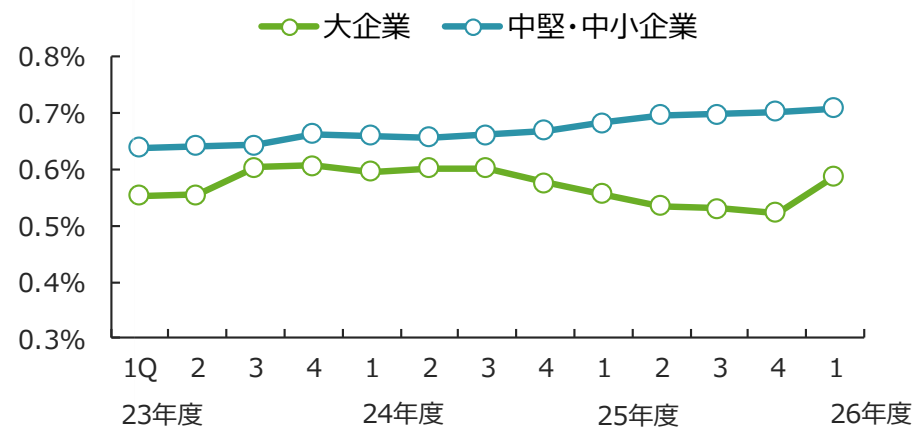


# 貸出金\*1

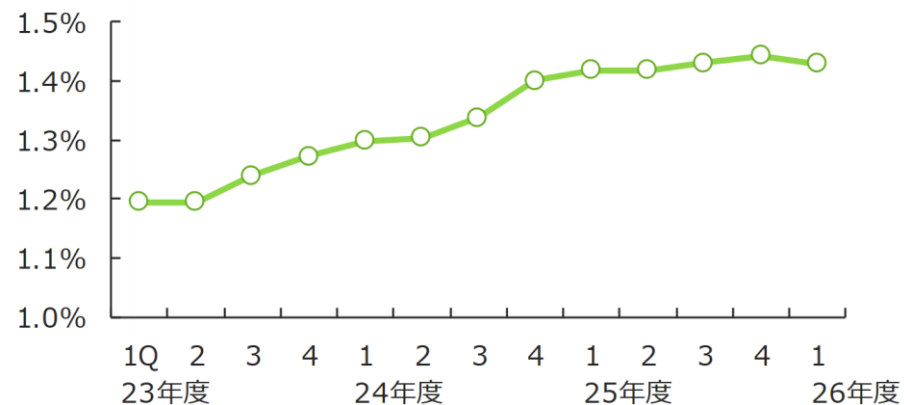
## ▶ 貸出金残高



## ▶ 国内法人向け貸出金スプレッド (SMBC単体) \*2,3



## ▶ 海外貸出金スプレッド\*2,4



\*1 三井住友銀行単体 \*2 内部管理ベース \*3 スtockベース。政府向け等を除く

\*4 スtockベース。24年度より集計方法の変更、遡及反映を実施

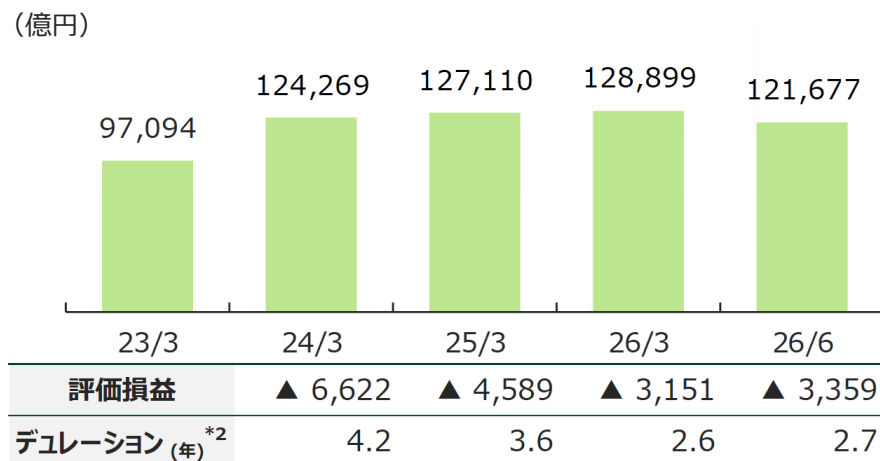
# 有価証券

## ▶ その他有価証券の内訳（連結）

| (億円)    | 残高      |         | 評価損益                 |        |
|---------|---------|---------|----------------------|--------|
|         | 26/6末   | 26/3末比  | 26/6末                | 26/3末比 |
| 満期保有目的  | 60,249  | +13,696 | ▲2,685               | ▲898   |
| その他有価証券 | 332,755 | ▲15,268 | 34,432               | +2,230 |
| 国内株式    | 36,990  | +1,957  | 26,969               | +1,997 |
| 国内債券    | 63,999  | ▲11,568 | ▲3,191               | ▲479   |
| うち国債    | 44,009  | ▲10,756 | ▲1,629               | ▲424   |
| その他     | 231,766 | ▲5,657  | 10,655 <sup>*1</sup> | +712   |
| うち外債    | 180,061 | ▲5,287  | ▲3,436               | ▲431   |

ヘッジ取引も活用し、リスク量はコントロール

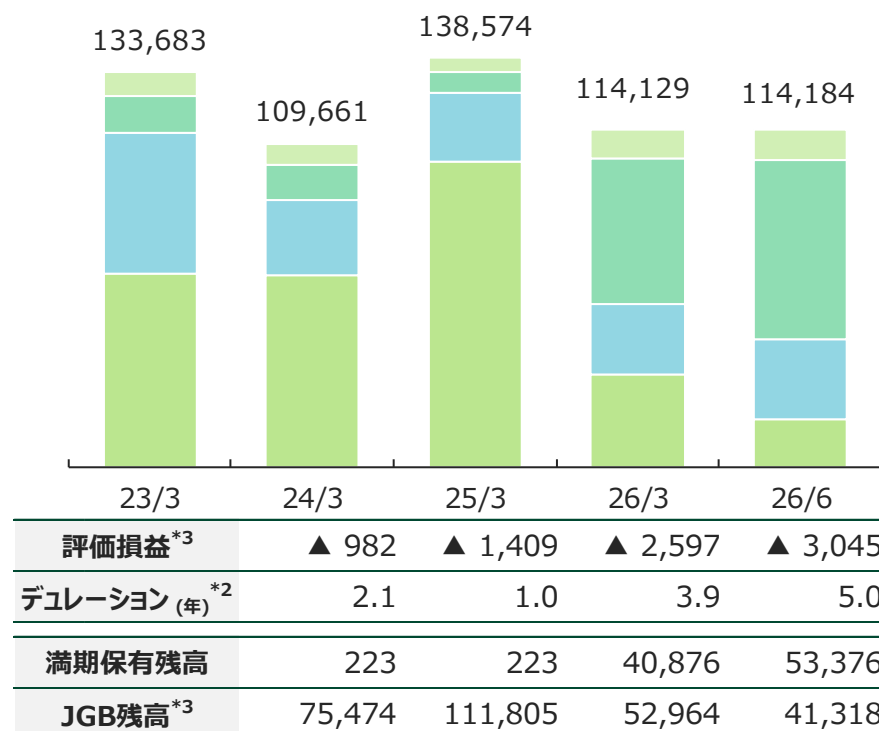
## ▶ 外債（SMBC）



## ▶ 円債（SMBC）

(億円)

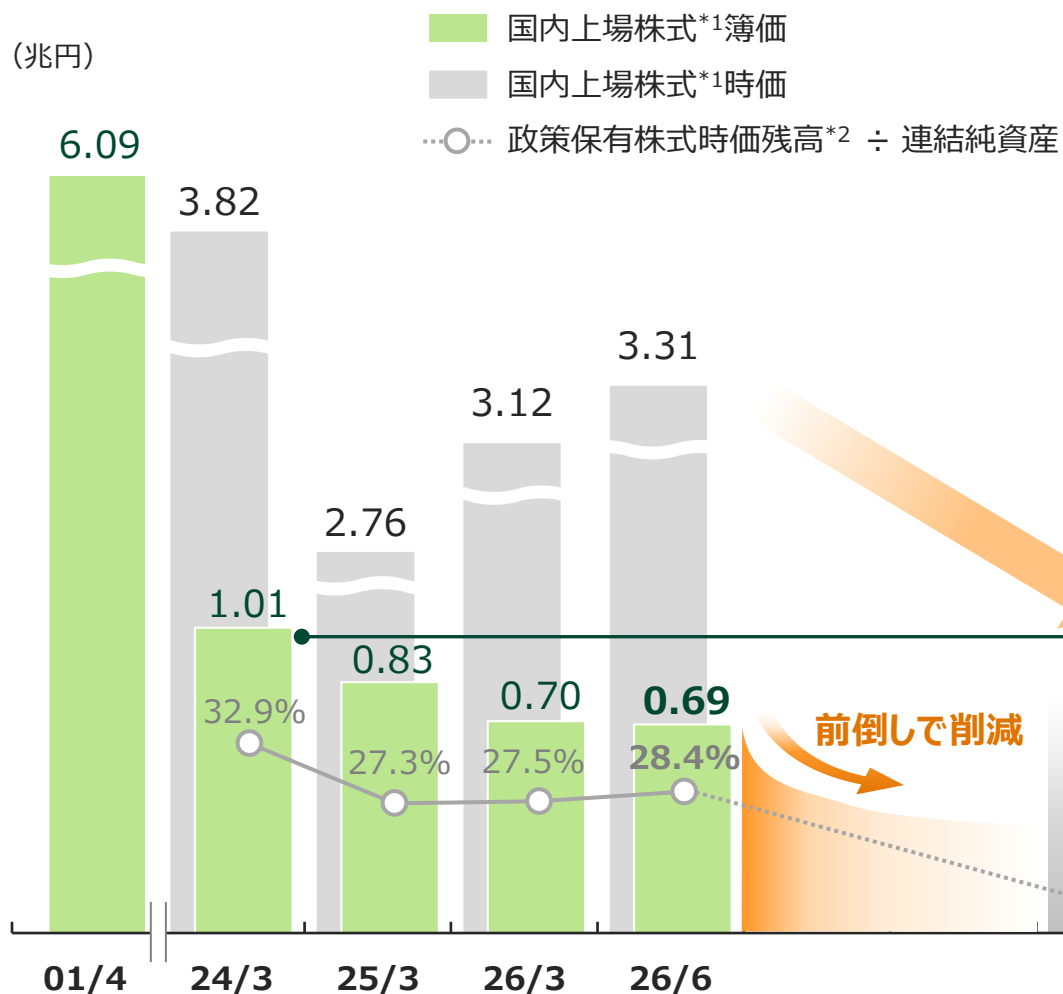
■ 1年以内 ■ 1年超5年以内 ■ 5年超10年以内 ■ 10年超



\*1 外国債券との差額は外国株式等 \*2 内部管理ベース。ヘッジ会計適用分・満期保有分を除く、私募債を含まず

\*3 満期保有目的を除く

# 政策保有株式



## 削減状況

|         |          |
|---------|----------|
| 削減額     | △3,250億円 |
| 24年度    | △1,850億円 |
| 25年度    | △1,240億円 |
| 26年度1Q  | △160億円   |
| 応諾済未売却額 | 600億円    |

## 削減計画 (24-28年度)

△6,000億円

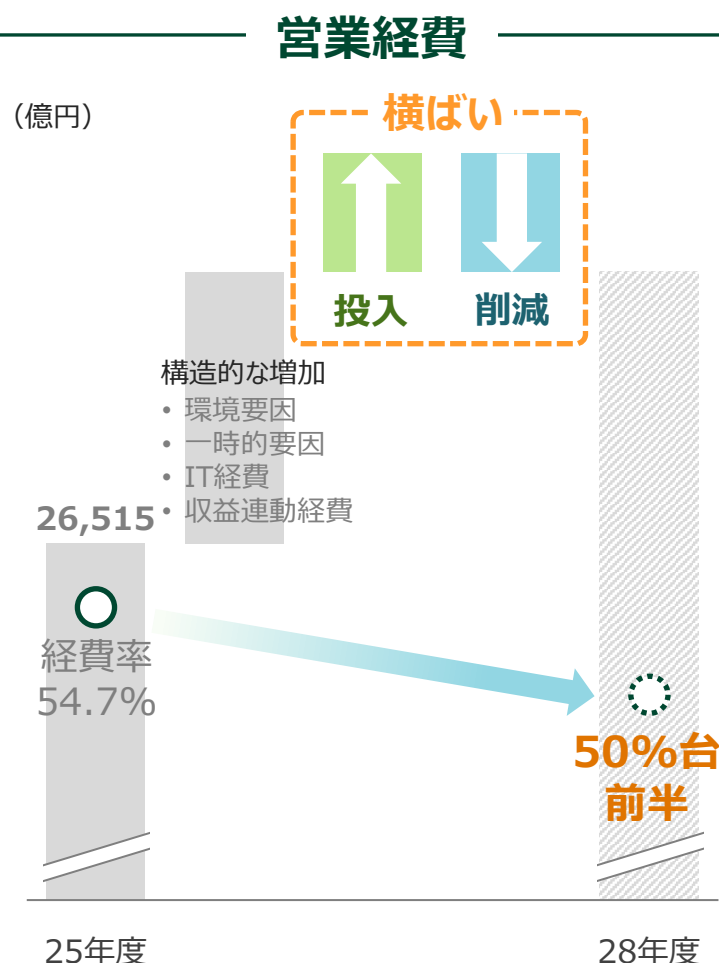
目標: 20%未満

\*1 20/3末以降の業務提携目的の出資を除く \*2 有価証券報告書に記載される「みなし保有株式」の残高を含む

# コストコントロール

重点施策へ経費を投入しつつ、3カ年で△2,000億円のコストを削減

営業経費は構造的な増加を除いて横ばい、経費率は50%台前半を目指す



| 投入 ↑                                |  | ▲2,000 |
|-------------------------------------|--|--------|
| 重点施策への投入<br>(市場取引、運用・資産形成、グローバル決済等) |  | ▲1,200 |
| 経営効率化に向けた戦略的投資等                     |  | ▲800   |
| 削減 ↓                                |  | △2,000 |
| AI・デジタル活用による業務効率化                   |  | △630   |
| 海外における人員管理や業務集約                     |  | △900   |
| 店舗・組織の合理化を通じたコスト見直し                 |  | △470   |

# 外部からの評価

## ▶ 外部格付

|                         | (26/9時点) |      |      |      |
|-------------------------|----------|------|------|------|
|                         | SMFG     |      | SMBC |      |
|                         | (長期)     | (短期) | (長期) | (短期) |
| Moody's                 | A1       | P-1  | A1   | P-1  |
| S&P                     | A-       | —    | A    | A-1  |
| Fitch                   | A-       | F1   | A    | F1   |
| 格付投資情報<br>センター<br>(R&I) | AA-      | —    | AA   | a-1+ |
| 日本格付<br>研究所<br>(JCR)    | AA       | —    | AA   | J-1+ |

## ▶ ESGインデックスへの組入れ



FTSE Blossom Japan



FTSE Blossom Japan Sector Relative Index



S&P/JPX Carbon Efficient Index

2026 CONSTITUENT MSCI JAPAN EMPOWERING WOMEN INDEX (WIN)

2026 CONSTITUENT MSCI NIHONKABU ESG SELECT LEADERS INDEX



FTSE4Good

2026 CONSTITUENT MSCI JAPAN ESG SELECT LEADERS INDEX

GPIF 選定インデックス

## ▶ 外部評価\*

work with Pride



Gold 2025

健康経営優良法人 2026  
KINCO Investment for Health  
大規模法人部門  
ホワイト500



NIKKEI Smart Work

★★★★★ 2026 Best 45



共働き 共育て  
Work Style Diversity 2026

プラチナくるみん  
子育てサポートしています



女性が活躍しています





SPORTS YELL COMPANY 2026

\* 主要グループ各社において、厚労省による子育てサポート企業に係る認定「プラチナくるみん」（5社）、女性活躍推進に係る認定「えるぼし」（3段階：2社、2段階：5社）、スポーツ庁による従業員の健康増進を目的としたスポーツ活動に係る認定「スポーツエールカンパニー2026」（4社）を取得

# キャラクター紹介

ミドすけ



©dwarf

- 三井住友銀行キャラクター
- ひよんなことから人間の世界に住みついた、緑色のカワウソ
- 特技は、10円玉を立てること

ビバすけ



©dwarf

- SMBCグループ共通のポイントであるVポイントを知ってもらいたくて、日々はりきっているビーバー
- 趣味は、Vポイントを集めること



# 三井住友フィナンシャルグループ



本資料には、当社グループの財政状態および経営成績に関する当社グループおよびグループ各社経営陣の見解、判断または現在の予想に基づく、「将来の業績に関する記述」、ならびに、環境、社会およびガバナンスにかかる当社グループのサステナビリティに関連する活動に関する記述（「サステナビリティに関する記述」）が含まれております。多くの場合、これらの記述には、当社グループの将来に関する事項を表す「予想」、「予測」、「期待」、「意図」、「計画」、「可能性」やこれらの類義語が含まれますが、この限りではありません。また、これらの記述は、将来の業績や結果を保証するものではなく、リスクと不確実性を内包するものであり、実際の業績や結果は、本資料に含まれるもしくは、含まれるとみなされる「将来の業績に関する記述」および「サステナビリティに関する記述」で示されたものと異なる可能性があります。実際の業績や結果に影響を与えるリスクや不確実性としては、以下のようなものがあります。国内外の経済金融環境の悪化、保有する有価証券の時価の下落、不良債権残高および与信関係費用の増加、当社グループの国内外におけるビジネス戦略が奏功しないリスク、提携・出資・買収および買収後の経営統合が奏功しないリスク等です。こうしたリスクおよび不確実性に照らし、本資料公表日現在における「将来の業績に関する記述」および「サステナビリティに関する記述」を過度に信頼すべきではありません。当社グループは、いかなる「将来の業績に関する記述」または「サステナビリティに関する記述」について、更新や改訂をする義務を負いません。また、「サステナビリティに関する記述」における、当社グループのサステナビリティに関連する取組については、当社グループのリスク管理およびその他の投融資等の目的を推進しそれらに対応することを目指す、当社グループが独自に決定した方針と方法に基づき行われ、また個々の決定は各法域において適用される法規制に基づき、それに従って行われます。

当社グループの財政状態および経営成績や投資者の投資判断に重要な影響を及ぼす可能性がある事項については、本資料のほか、有価証券報告書等の本邦開示書類や、当社が米国証券取引委員会に提出したForm 20-F等の米国開示書類、当社グループが公表いたしました各種開示資料のうち、最新のものを参照ください。

「R & I ファンド大賞」は、R & I が信頼し得ると判断した過去のデータに基づく参考情報（ただし、その正確性及び完全性につきR & I が保証するものではありません）の提供を目的としており、特定商品の購入、売却、保有を推奨、又は将来のパフォーマンスを保証するものではありません。当大賞は、信用格付業ではなく、金融商品取引業等に関する内閣府令第299条第1項第28号に規定されるその他業務（信用格付業以外の業務であり、かつ、関連業務以外の業務）です。当該業務に関しては、信用格付行為に不当な影響を及ぼさないための措置が法令上要請されています。当大賞に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利はR & I に帰属しており、無断複製・転載等を禁じます。